

# 令和4年度 まちの決算の状況

## ■歳入歳出決算額

### ○一般会計・特別会計の状況

令和4年度の一般会計及び3つの特別会計の決算総額は、歳入総額114億8,507万円に対し、歳出総額105億4,141万円で、歳入歳出差引額は9億4,366万円（翌年度への繰越財源を除いた実質収支は5億8,436万円）となっています。

また、前年度と比較して歳入総額は10億2,283万円（9.8%）の増、歳出総額は4億4,573万円（4.4%）の増となっています。

会計名	当初予算額	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額
一般会計	75億6,026万円	103億3,381万円	94億970万円	9億2,411万円
特別会計	11億5,672万円	11億5,126万円	11億3,171万円	1,955万円
国民健康保険事業	8億4,546万円	8億4,804万円	8億3,707万円	1,097万円
農業集落排水事業	2億2,394万円	2億1,568万円	2億1,129万円	439万円
後期高齢者医療事業	8,732万円	8,754万円	8,335万円	419万円
合計	87億1,698万円	114億8,507万円	105億4,141万円	9億4,366万円

### ○一般会計の歳入・歳出決算の内訳

歳入項目		令和4年度決算額 (構成比率)	歳出項目		令和4年度決算額 (構成比率)
自主財源	町税	5億8,104万円 (5.6%)	義務的経費	人件費	9億6,269万円 (10.2%)
	諸収入	1億2,396万円 (1.2%)		公債費	10億5,621万円 (11.2%)
	分担金及び負担金	4,702万円 (0.4%)		扶助費	6億6万円 (6.4%)
	繰入金	12億7,085万円 (12.3%)	投資的経費	普通建設事業費(補助)	4億723万円 (4.3%)
	その他の自主財源	4億2,899万円 (4.2%)		普通建設事業費(単独)	29億5,058万円 (31.4%)
依存財源	地方交付税	38億3,950万円 (37.2%)	災害復旧事業	4,388万円 (0.4%)	
	町債	26億205万円 (25.2%)	その他の経費	補助費等	13億2,072万円 (14.0%)
	国庫支出金	8億139万円 (7.8%)		物件費	8億6,252万円 (9.2%)
	県支出金	3億6,020万円 (3.5%)		繰出金	4億7,922万円 (5.1%)
	地方譲与税	1億2,749万円 (1.2%)		その他の経費	7億2,659万円 (7.8%)
	その他の依存財源	1億5,132万円 (1.4%)		合計	94億970万円 (100.0%)
合計	103億3,381万円 (100.0%)				

## ○企業会計の状況

病院事業会計は総収益 10 億 9,919 万円に対し、総費用が 10 億 8,360 万円となり、純利益 1,559 万円を計上しました。

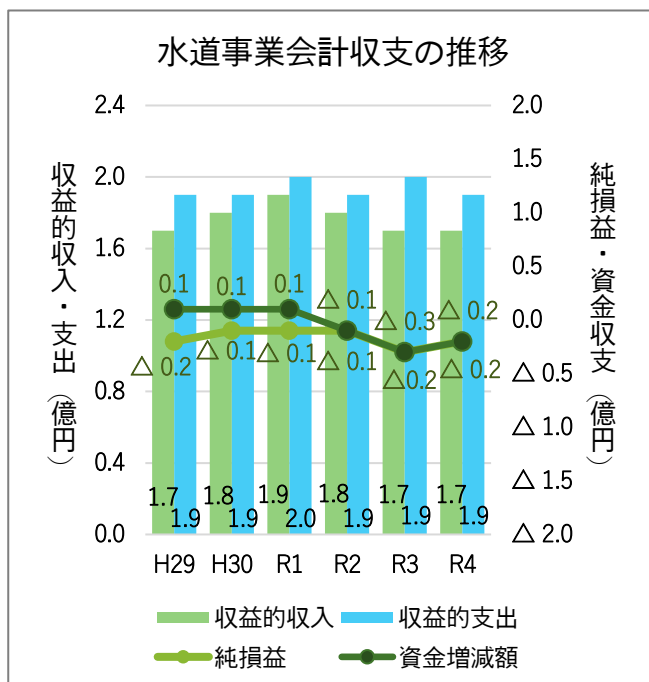
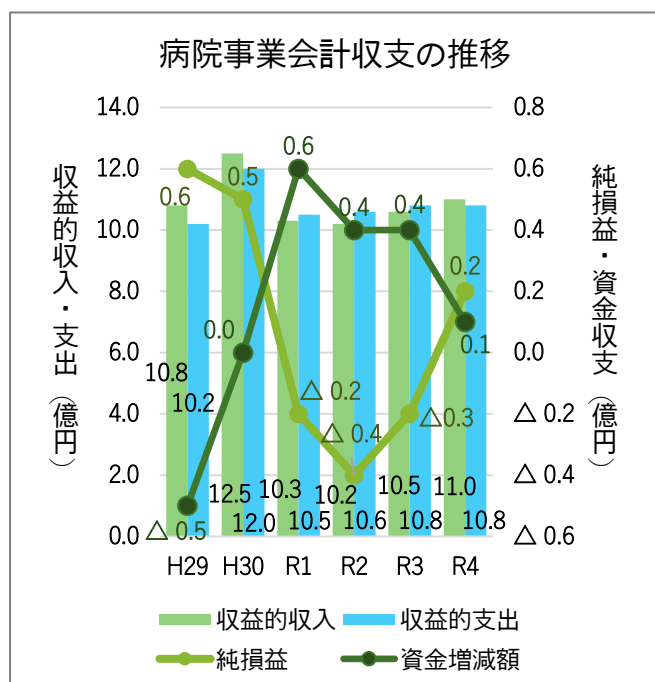
水道事業会計は総収益 1 億 6,539 万円に対し、総費用が 1 億 8,790 万円となり、純損失 2,251 万円を計上しました。

(税込)

項目	病院事業会計		水道事業会計	
	金額	金額	金額	金額
収益的収支	医業収益	6億9,719万円	営業収益	1億2,034万円
	医業外収益	3億2,173万円	営業外収益	4,505万円
	医業費用	10億6,132万円	営業費用	1億7,098万円
	医業外費用	2,017万円	営業外費用	1,692万円
	特別利益	8,027万円	特別利益	—
	特別損失	211万円	特別損失	—
	純損益	1,559万円	純損益	△2,251万円
資本的収支	資本的収入	1億1,974万円	資本的収入	7,503万円
	資本的支出	1億9,050万円	資本的支出	1億4,103万円
	差引収支	△7,076万円	差引収支	△6,600万円
資金収支(税抜)	資金増減額	981万円	資金増減額	△1,226万円

※ 収益的収支は、経営活動によって発生する収入と支出のことをいい、資本的収支は、建物や施設の建設などに係る収入と支出のことをいいます。

また、「資金収支」は事業年度における資金の受払いの状況を経理したもので、資金増減額は、事業年度における現金の増加（△は減少）額を示しています。

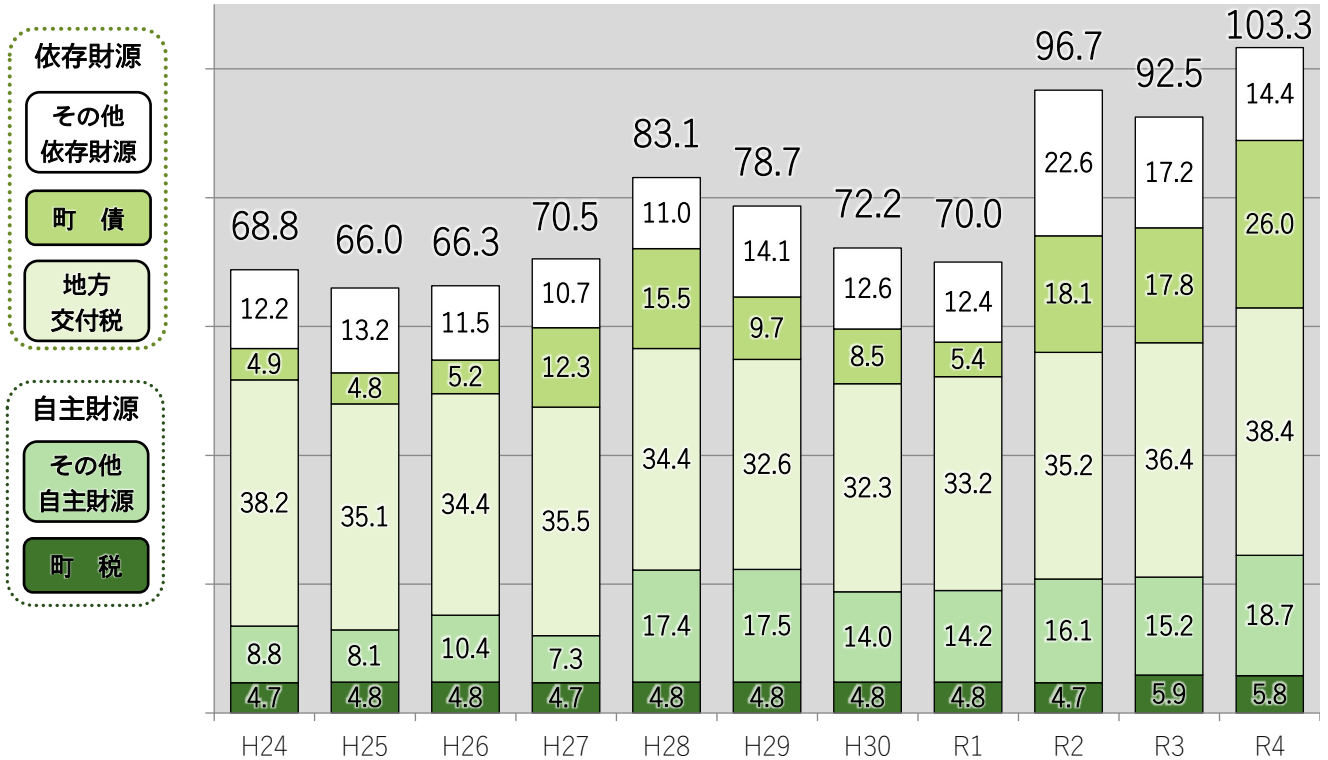


## ■一般会計歳入歳出決算額の推移

令和4年度の町の一般会計決算額は、歳入が103億3,381万円（前年度比10億8,378万円、11.7%増）、歳出が94億970万円（前年度比5億359万円、5.7%増）となり、歳入歳出差引額は9億2,411万円（前年度比5億8,019万円、168.7%増）の黒字となっています。

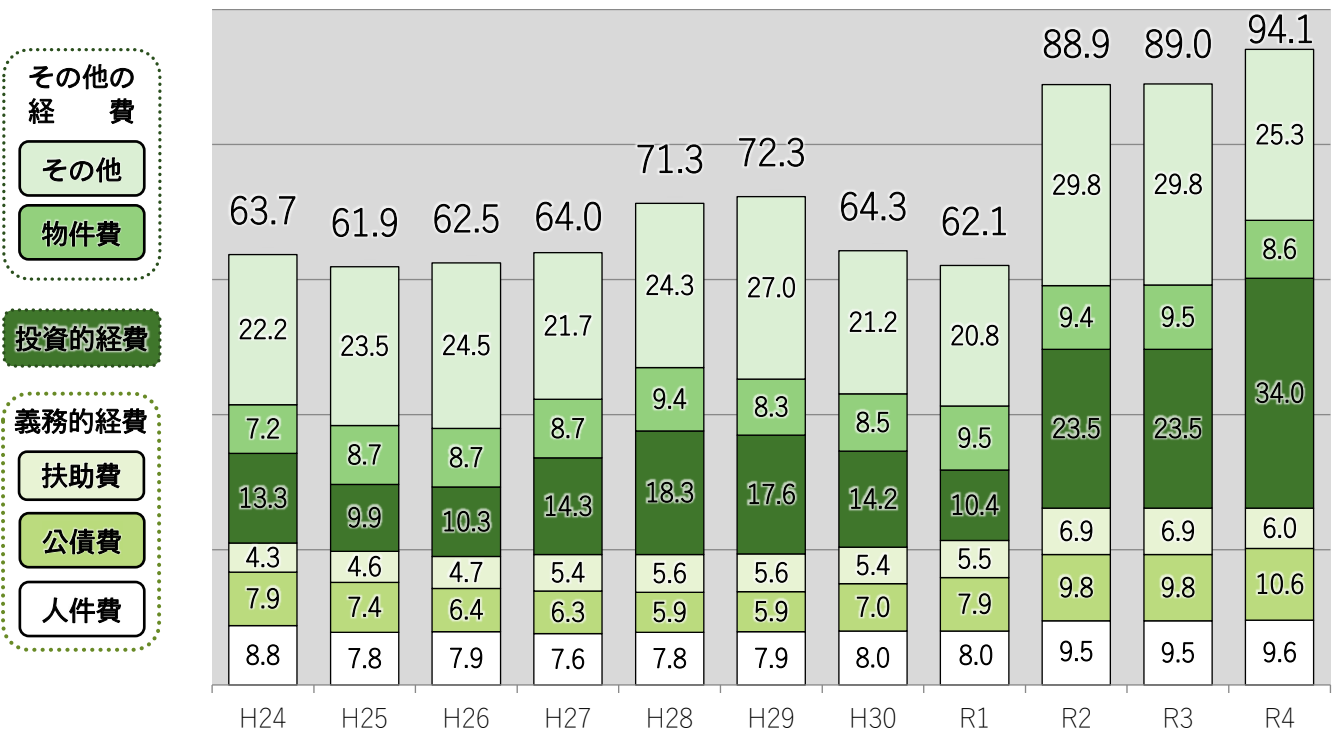
### ●歳入決算額の推移

（単位：億円）



### ●歳出決算額の推移

（単位：億円）

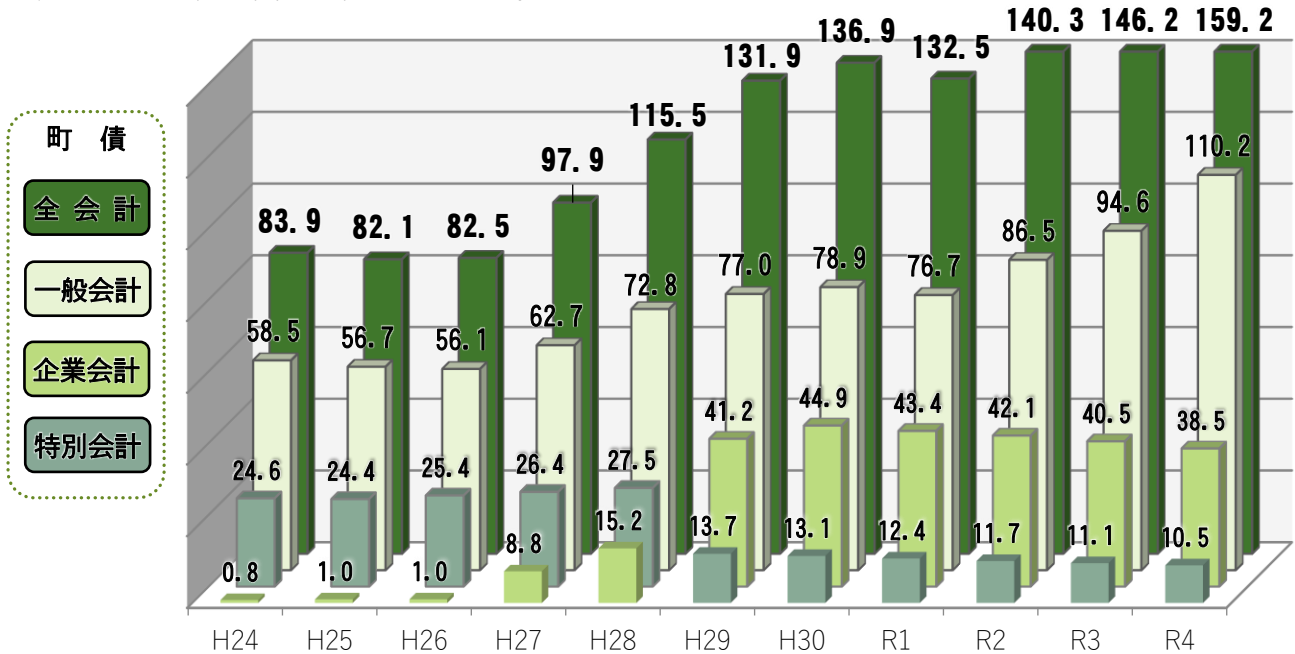


## ■町債現在高の推移

町の借金である町債残高の推移を表したグラフです。令和4年度の一般会計の借入額は、庁舎等建設事業などの公共施設整備により26億205万円（前年度比8億2,848万円、46.7%増）となり、令和4年度末の全会計の借入残高は、159億2,437万円（前年度比13億671万円、8.9%増）となっています。

一方で、将来にわたる安定的な財政運営を見据え、起債残高の縮小を図る取組みとして、3億4,645万円の繰上償還を行っています。

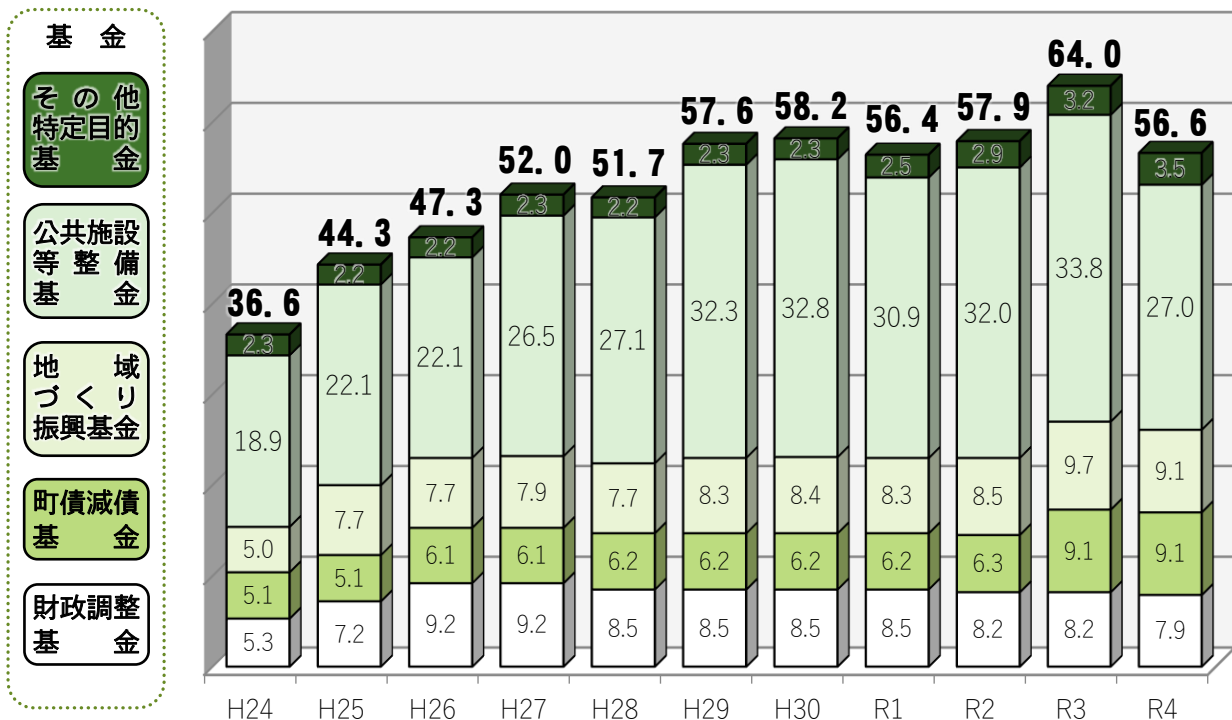
（単位：億円）



## ■基金残高の推移

町の貯金である基金の令和4年度末の基金残高総額は56億6,219万円で、前年度に比較して7億3,390万円（11.5%）の減となりました。積み立てた基金は、庁舎等建設のほか、今後見込まれる老朽化した公共施設や各種インフラの修繕、更新などの費用に充てられる予定です。

（単位：億円）



# ■まちの財政の状況

## ●財政指標

項目	令和4年度 決算 A	令和3年度 決算 A	差引 (A - B)	早期健全化 基準	財政再生 基準
実質赤字比率	- (赤字なし)	- (赤字なし)	-	15.0 %	20.0 %
連結実質赤字比率	- (赤字なし)	- (赤字なし)	-	20.0 %	30.0 %
実質公債費比率	7.9 %	8.3 %	△0.4p t	25.0 %	35.0 %
将来負担比率	12.8 %	-	皆増	350.0 %	
財政力指数	0.18	0.17	0.01p t		
経常収支比率	80.0 %	81.4 %	△1.4p t		

### ■実質赤字比率

一般会計における赤字の程度を指標化して、財政運営の深刻度を示す比率です。実質赤字比率が生じた場合（マイナスとなった場合）には、赤字の解消を図る必要があります。

町の令和4年度一般会計における実質赤字額は生じていませんので、実質赤字比率はありません。

### ■連結実質赤字比率

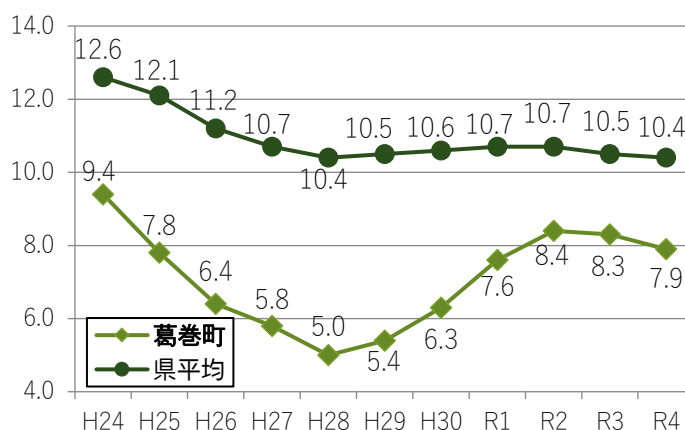
特別会計などを含め全ての会計における赤字の程度を指標化して、財政運営の深刻度を示す比率です。連結実質赤字比率が生じた場合（マイナスとなった場合）には、赤字の早期解消を図る必要があります。

町の令和4年度決算において、いずれの会計とも実質赤字額は生じていませんので、連結実質赤字比率はありません。

### ■実質公債費比率

借入金の返済額とこれに準じる額の大きさを指標化して、資金繰りの危険度を示す比率です。実質公債費比率の早期健全化基準は25%ですが、18%を超えると町債の借入れに対して都道府県からの許可が必要となります。

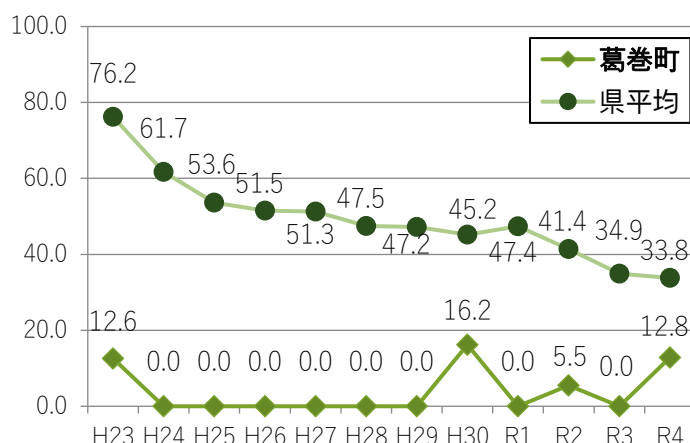
町の令和4年度における実質公債費比率は、7.9%で、前年度と比較して0.4ポイント改善しています。



### ■将来負担比率

一般会計における将来負担見込額（借入金の残高、公益企業の借入金の繰入見込額、退職手当負担見込額、第三セクターの負債額等）を指標化して、将来の財政を圧迫する可能性が高いかどうかを示す比率です。

町の令和4年度における将来負担比率は、12.8%で、前年度と比較して12.8ポイント上昇しています。



## ■財政力指数

財政力(※1)の過去3カ年間の平均値をいい、財政力を示す指数として用いられる数値で、財政力指数が「1」に近いほど財政力が強いとみることができます。

町の令和4年度の財政力指数は0.18で、前年度と比較して0.01ポイント増となりました。

※1 財政力 … 基準財政収入額(※2)の基準財政需要額(※3)に対する割合

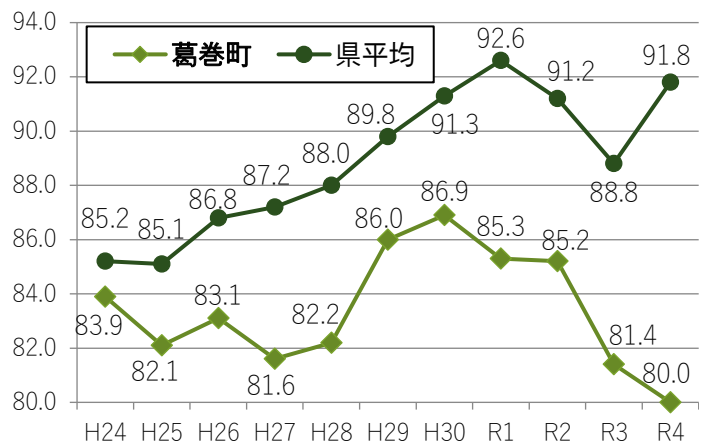
※2 基準財政収入額 … 通常標準的に徴収しうるであろうと考えられる税収入

※3 基準財政需要額 … 合理的で妥当な水準で行政活動を行っていくために必要な財政需要

## ■経常収支比率

使い道が特定されていない経常的に収入される財源のうち、人件費、扶助費、公債費のように経常的に支出される経費に割り当てられる財源の比率で、この比率が低くなるほど財政構造が弾力的であることを示しています。

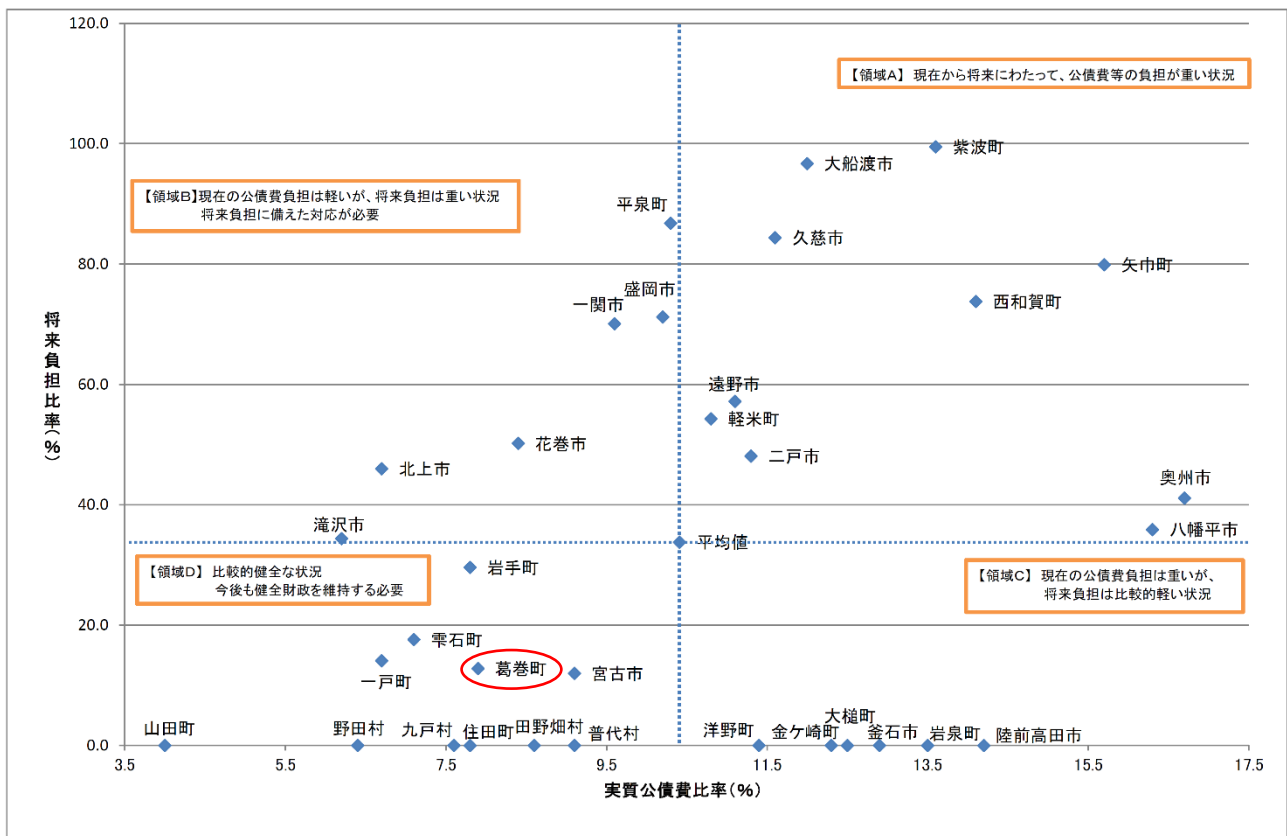
町の令和4年度の経常収支比率は80.0%で、前年度と比較して1.4ポイント改善しています。



## ●令和4年度財政分析指標クロス表

市町村の財政運営が健全であるかを分析するために、令和4年度の実質公債費比率と将来負担比率を合わせて表にすると次のようになります。

当町は実質公債費比率、将来負担比率ともに低い「領域D」に分布しており、現状では比較的健全な財政状況であると言えます。



## ■一部事務組合及び第三セクターの状況（令和4年度）

### ●関係する一部事務組合等の財政状況

（単位：百万円）

	歳入	歳出	形式収支	実質収支
盛岡地区広域消防組合	7,071	7,005	66	57
盛岡北部行政事務組合	7,813	7,475	338	338
岩手県市町村総合事務組合	9,642	9,569	73	73
岩手県後期高齢者医療広域連合	161,926	159,741	2,185	2,185

（※財政状況資料集より）

形式収支・・・歳入決算総額から歳出決算総額を差し引いた額

実質収支・・・形式収支から翌年度へ繰り越すべき財源額を差し引いた額

### ●第三セクター等の経営状況及び町の財政支援の状況

（単位：百万円）

	経常損益	純資産	町からの 出資金	町からの 補助金	町の損失 補償債務 残高
(一社)葛巻町畜産開発公社	2	607	189	49	119
(株)グリーンテージくずまき	2	44	20	2	-
(株)岩手くずまきワイン	△18	239	75	4	50
葛巻町森林組合	2	129	27	1	100

（※財政状況資料集より）

経常損益・・・営業収益と営業外収益から、営業費用と営業外費用を差し引いた額

損失補償・・・第三セクターが金融機関から融資を受ける場合に、出資している地方公共団体が  
融資を行う金融機関と損失補償契約を結ぶこと